

3つの“チカラ”を取り戻せ！領域展開『鳩山モデル』運動促進事業 分析結果からみた事業効果(健診・医療費)

令和3年11月29日作成

1. 分析の目的

当該事業は、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴う活動自粛により生じた、地域高齢者の体力・筋力・気力の3つのチカラが失われるという新たな課題に対して、対象者を健康づくりへの意欲・関心度別(アクティブ層・非アクティブ層・無関心層の3つ)に分類し、それぞれの特性に合ったウォーキングや筋力トレーニング等の個別プランを提案し、継続参加を支援するため、「鳩山モデル(栄養・運動・社会参加)」の領域を展開した運動促進事業を実施した。

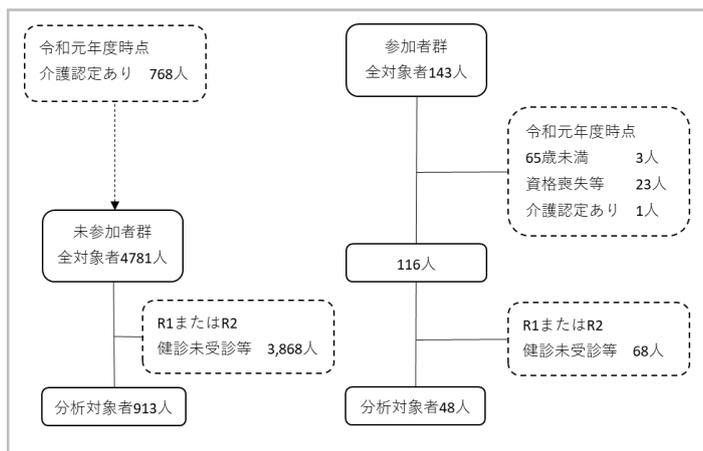
本分析は、連携大学や研究機関の協力の下、令和2年度に実施した体力測定や高齢者悉皆調査の結果に加え、特定健診等の結果及び医療費の変化や未参加者との比較分析を行うことにより、より詳細な生活習慣病予防及び重症化予防、さらには健康寿命の延伸や、医療費抑制への寄与効果を検証するとともに、この結果は次年度以降の健康づくり事業の実施・改善のための資料とする。

2. 分析実施主体

鳩山町保健センター

3. 分析対象

令和2年度運動促進事業 体力測定会「健寿測定会 秋(令和2年9月)」に参加した65歳以上の高齢者のうち、国民健康保険(以下、「国保」と表記)または後期高齢者医療制度(以下、「後期」と表記)の被保険者(令和元年度時点)48人



4. 分析実施時期

令和3年11月

※当該事業の実施期間は令和2年4月～令和3年3月であり、令和2年度「健康長寿に係るイチオン事業」等の報告時点(令和2年12月)においては、分析のためのデータが出揃っていなかったため、過去の検証結果等を参考に報告し、同年度未までに最終的な検証を行うこととしていたが、その後、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応やワクチン接種業務への従事等により、健診結果及び医療費分析は予定よりも大幅に遅れての実施となった。

5. 分析方法

国保データベース(KDB)「保健事業介入支援管理」を使用し、下記について比較分析を行った。

- (1)国保・後期別参加者群の「健診結果」及び「医療費」の令和元年度×令和2年度の比較
- (2)国保・後期別の「健診結果」及び「医療費」の参加者群×未参加者群の比較

6. 分析結果

結果は下表のとおり。

- (1)国保・後期別参加者群の「健診結果」及び「医療費」の令和元年度×令和2年度の比較

①健診結果

- 国保(男性)では、HbA1c、LDLコレステロール(以下、「LDL-C」と表記)、収縮期血圧、拡張期血圧で改善がみられた。中でも、収縮期血圧は保健指導基準値内、LDL-C は保健指導基準値近くまで減少した。
- 国保(女性)では、LDL-C、収縮期血圧、拡張期血圧で改善がみられた。
- 後期(男性)では、HbA1c、中性脂肪(以下、「TG」と表記)、HDL コレステロール(以下、「HDL-C」と表記)、LDL-C で改善がみられた。中でも、LDL-C は保健指導基準値内まで減少した。
- 後期(女性)では、HDL-C、収縮期血圧、拡張期血圧で改善がみられた。

②医療費

- 国保・後期(男性)、後期(女性)において、一人当たり年間医療費(平均)が減少した。

	国保(男性)	国保(女性)	後期(男性)	後期(女性)
増減額(円)	-57,811	+33,342	-59,244	-62,321

- (2)国保・後期別の「健診結果」及び「医療費」の参加者群×未参加者群の比較

①健診結果

- 改善項目数は未参加者群に比べ、参加者群で多かった。

改善項目数	国保(男性)	国保(女性)	後期(男性)	後期(女性)
参加者群	4	3	4	3
未参加者群	1	2	2	0

②医療費

- 令和2年度の一人当たりの年間医療費(平均)を比較したところ、すべての区分において参加者群が25,642～323,653円低い結果となった。
- 一人当たり年間医療費(平均)の前年度増減額を比較したところ、参加者群において減額した区分が多くみられ、減少額も57,811～62,321円と大きい結果となった。

R2 群間比較	国保(男性)	国保(女性)	後期(男性)	後期(女性)
VS 未参加者群	-149,375	-25,642	-323,653	-238,634
前年度との比較	国保(男性)	国保(女性)	後期(男性)	後期(女性)
参加者群	-57,811	+33,342	-59,244	-62,321
未参加者群	-10,235	-28,542	+41,583	+109,968

7. 事業効果(まとめ)

- 健診結果から、参加者群の多くの区分においてLDL-C、収縮期・拡張期血圧の改善がみられ、適正な値まで改善した項目もあった。このことから、当該事業をはじめとする健康づくり事業の継続が生活習慣病予防・重症化予防に寄与する可能性が示唆された。
- 医療費については、集団規模や新型コロナウイルス感染拡大の影響等さまざま考えられるが、令和2年度参加者群は、未参加者群との比較、前年度との比較いずれにおいても低い結果となり、こちらについても医療費抑制に寄与する可能性が示唆された。

▼健診結果分析結果(群別・性別・国保後期別)

男性	平均値	体重差分		BMI		HbA1c (%)		TG (mg/dl)	
		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
65～74歳	参加者群	+1.0	+0.3	23.5	23.7	5.9	5.8	99.6	106.4
	未参加者群	-0.3	0.0	23.2	23.2	5.7	5.7	115.0	126.1
75歳以上	参加者群	+0.6	-1.8	22.8	22.3	6.2	6.0	90.6	88.0
	未参加者群	-0.5	+0.2	22.7	22.8	5.8	5.8	90.9	98.8

男性	平均値	HDL-C (mg/dl)		LDL-C (mg/dl)		収縮期血圧 (mmHg)		拡張期血圧 (mmHg)	
		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
65～74歳	参加者群	58.4	57.8	123.8	119.8	132.0	120.6	79.9	76.1
	未参加者群	64.4	63.2	124.3	123.6	134.6	135.9	79.6	79.7
75歳以上	参加者群	63.1	63.3	121.4	107.6	128.0	129.4	70.9	73.5
	未参加者群	64.6	62.2	119.8	119.1	134.0	135.8	74.8	74.6

女性	平均値	体重差分		BMI		HbA1c (%)		TG (mg/dl)	
		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
65～74歳	参加者群	0.0	+0.7	22.3	22.5	5.9	5.9	97.1	100.4
	未参加者群	-0.1	+0.1	22.0	22.2	5.7	5.6	102.5	102.6
75歳以上	参加者群	-0.4	+0.3	22.3	22.4	5.7	5.8	96.8	101.5
	未参加者群	-0.4	-0.4	21.7	21.7	5.7	5.7	95.7	100.1

女性	平均値	HDL-C (mg/dl)		LDL-C (mg/dl)		収縮期血圧 (mmHg)		拡張期血圧 (mmHg)	
		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
65～74歳	参加者群	77.5	75.1	131.7	127.4	123.8	123.5	70.2	70.1
	未参加者群	73.2	73.1	137.3	136.2	132.0	134.4	75.1	76.3
75歳以上	参加者群	78.0	78.5	111.0	126.8	133.5	130.3	73.8	70.3
	未参加者群	69.3	69.2	124.3	127.0	131.2	133.4	72.2	73.6

▼医療費分析結果(群別・性別・国保後期別)

男性	平均値	医療費 (円/年/人)		(内) 入院 (円/年/人)		(内) 外来 (円/年/人)	
		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
65～74歳	参加者群	250,827	193,016	49,339	1,273	101,489	101,483
	未参加者群	352,626	342,391	103,433	120,993	146,207	133,003
75歳以上	参加者群	324,233	264,989	33,045	0	134,245	117,543
	未参加者群	547,059	588,642	225,971	268,246	186,132	182,763

女性	平均値	医療費 (円/年/人)		(内) 入院 (円/年/人)		(内) 外来 (円/年/人)	
		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
65～74歳	参加者群	218,428	251,770	29,529	62,636	103,866	89,219
	未参加者群	305,954	277,412	69,240	78,964	136,164	115,885
75歳以上	参加者群	356,951	294,630	11,909	0	177,532	172,356
	未参加者群	423,296	533,264	141,591	254,930	156,365	152,999